

発 言 通 告 書

令和 8 年 9 月 9 日

松山市議会議員 大 塚 啓 史 殿

松山市議会議員 池 田 美 恵

次のとおり通告します。

発言順位	3	受領日時	9 月 9 日 午前・午後	2 時 5 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式			発言時間	約 60 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者				

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	健全で持続可能な財政運営と次期 市政への引継ぎについて	(1) 令和 7 年度において赤字幅が約 12 億円改善した要因を含め、実 質単年度収支 12 年連続赤字という実態を市としてどのように分析・認 識しているのか。 また、実質収支 68 年連続黒字というよい数字だけでなく、この実質単 年度収支の実態についても市民へ分かりやすく説明していく必要が あると考えるが、本市の見解を問う。 (2) 今後さらに物価高や人件費の上昇、社会保障費の自然増といった 歳出圧力が高まる中で、基金の計画的な維持と実質単年度収支の 均衡・黒字化に向けて、今後どのような方針で収支バランスを取って いく考えか。 (3) 市債残高の抑制というこれまでの成果を堅持しつつ、次期市政が 市民に必要な未来への投資をちゅうちょなく行えるよう、どのような財 政規律と持続可能性の道筋を次代へ引き継ぐ考えか、市長の決意と 所見を問う。
2	公共交通ネットワークの維持・発展 について	(1) 公共交通機関の利用に際して、運賃負担の増加や利便性の低下 に悩む市民の日常の声を、市としてどのように認識しているのか。 また、松山市地域公共交通計画において、市民の移動の権利を守 り、子育て世代や高齢者にとっても利用しやすく持続可能な公共交 通ネットワークをいかに再構築していくのか、所見を問う。 (2) 伊予鉄高浜線の松山観光港延伸構想の推進と関係機関との連携 について ① 市政の将来を見据えた重要課題として、この高浜線延伸構想の意 義をどのように捉えているのか。 ② 交通事業者との間で立ち上げた勉強会の内容、現在の進捗状況 及び今後の方向性を問う。 ③ 事業化に向けて国や県、そして地元への働きかけや連携をどのよ

